

令和6年度 事業報告書

学校法人 金沢科学技術学園

(専) 金沢科学技術大学校

I. 法人の概要

1. 基本情報

①法人の名称 学校法人 金沢科学技術学園

②主たる事務所の住所、電話番号、FAX番号、URL

住所：石川県金沢市三社町11番16号

電話番号：(076) 224-3118

FAX番号：(076) 233-8528

URL：<https://www.kist.ac.jp>

2. 建学の精神

「技術教育を通じた人間教育」を教育理念として掲げ、技術、知識のみの習得にとどまらず、豊かな人間性を育み、あらゆる面で社会に必要とされる技術者の育成を目標に教職員が日々熱心に教育活動に取り組んでいます。

3. 学校法人の沿革

- 1986 学校法人金沢科学技術学園及び金沢科学技術専門学校の設置認可を受ける。
- 1987 金沢科学技術専門学校開校。
自動車工学科、コンピュータ学科、電気・電子工学科、生物工学科、
素材工学科、水産増殖学科、建築デザイン学科を開設。
自動車整備士1種養成施設として運輸省より認可を受ける。
- 1988 工事担任者デジタル・アナログ試験の受験科目一部免除を郵政省より
認定される。
- 1989 建築デザイン学科が石川県知事により2級建築士及び木造建築士試
験の受験資格認定を受ける。インテリアデザイン学科を新設。
- 1990 本校舎（改修工事）竣工。別館新校舎竣工。
経営情報工学科、機械システム工学科を新設。
インテリアデザイン学科が、財団法人建築技術教育普及センターより
インテリアプランナー試験の受験資格に係る課程の認定を受ける。
- 1991 建築デザイン学科を建築学科に名称変更。
- 1994 水産増殖学科及び素材工学科を廃止。環境工学科を新設。
- 1995 この年の2年課程の卒業生から、文部科学省より「専門士」の称号
が付与される。
高等課程（工業技術課程）を設置。

- 1998 コンピュータ学科の名称を情報システム学科に変更。
メディアクリエイト学科、ビジネスパソコン学科、映像イベント学科
を新設。
- 1999 マルチメディアスタジオ完成。
- 2000 電気・電子工学科をデジタル・通信工学科に名称変更。
- 2001 環境工学科、機械システム学科を廃止。
校内高速ネットワークシステム構築。
- 2002 生物工学科、インテリアデザイン学科を廃止。
プレゼンテーションルーム完成。
- 2003 自動車実習設備増設（実習室E Vを設置）。
- 2004 映像イベント学科を映像音響学科に名称変更。
家具クラフト学科を新設。
自動車工学科を整備ライセンスコースとトータルメカニックコース
の2コースに再編。
自動車実習設備増設（実習場拡張工事）。
- 2005 建築学科実習設備増設（製図機全台更新）。
- 2006 自動車工学科実習設備増設（塗装用ブース設置）。
- 2007 デジタル・通信工学科、メディアクリエイト学科を廃止。
- 2008 情報システム学科を情報工学科に名称変更し、情報システムコース
とソフトウェア開発コースの2コースを設置。
- 2009 自動車工学科実習設備更新（自動車用ラックリフト）
映像音響学科照明機材等更新。
- 2010 R C 3階建て民間アパートを学校の学生用寮棟として購入、改修。
- 2011 電気エネルギー工学科を新設。
北陸新幹線開通のため、校地の一部が金沢市により収用。
本館・別館屋上に太陽光発電装置を設置。
本館1・2階トイレ改修。
- 2012 本館校舎壁面防水工事（更新）実施。
別館実習用自動車置場の整地（収用による工事）。
- 2013 本館3・4階トイレ改修。
- 2014 本館7・8階トイレ改修。
学生寮屋上に太陽光発電装置を設置。
- 2015 本館5・6階トイレ改修。
本館蛍光灯LED照明に変更（1,400本）。
別館屋上太陽光発電装置増設。
映像音響学科にデジタルオーディオネットワークシステム導入。
- 2017 映像音響学科のi-Mac40台更新。
- 2018 情報工学科情報システムコースをWebクリエイトコースに名称変更。

- 2019 金沢科学技術専門学校を（専）金沢科学技術大学校に校名を変更。
- 2020 本館エレベータ 2 基を更新
- 2021 高度専門技術専攻科（2 年制）を設置。
本館キュービクル更新。 本館・別館火災警報装置更新。
- 2022 別館蛍光灯 L E D 照明に交換（372 本）。
本館 1 ～8 階段非常灯 L E D 照明に交換。
- 2023 自動車工学科「整備士ライセンスコース」を「2 級コース」に名称変更。
自動車工学科トータルメカニックコースを廃止。
自動車工学科に 1 級自動車整備士養成の「1 級コース」を設置。
別館実習車置場拡張のため隣接地を購入（91.89 m²）
- 2024 本館 2 階にオンラインブースを 2 部屋増設。

4. 設置する学校・学科等

（1）設置する学校の名称 （専）金沢科学技術大学校

（2）学科構成

学科名（昼間制）	修業年限	入学定員				収容定員
		1 年	2 年	3 年	4 年	
自動車工学科						
・ 1 級コース	4年	20名	20名	20名	20名	80名
・ 2 級コース	2年	30名	30名			60名
情報工学科	2年	50名	50名			100名
ビジネスパソコン学科	1年	20名				20名
映像音響学科	2年	40名	40名			80名
電気エネルギー学科	2年	20名	20名			40名
建築学科	2年	40名	40名			80名
家具クラフト学科	2年	20名	20名			40名

5. 学校・学科及び学生数の状況

(2024 年 5 月 1 日現在)

学校名		入学定員	入学者数	収容定員	現員数
(専)金沢科学技術大学校	自動車工学科 1 級コース	20名	2名	80名	10名
	自動車工学科 2 級コース	30名	21名	60名	44名
	情報工学科	50名	43名	100名	95名
	ビジネスパソコン学科	20名	0名	20名	1名
	映像音響学科	40名	38名	80名	73名
	電気エネルギー工学科	20名	8名	40名	18名
	建築学科	40名	38名	80名	77名
	家具クラフト学科	20名	7名	40名	13名

6. 役員の概要

(定員 理事 8 名 監事 2 名)

職 名	氏 名	就任年月日	選任区分	常・非の別	備 考
理事長	中山 均	2024. 6. 12	3 号	常勤	(学校職員)
理 事	鈴木 悠一	2024. 6. 12	3 号	常勤	(学校職員)
理 事	野田 政仁	2024. 6. 12	3 号	非常勤	弁護士
理 事	高岡 龍之介	2024. 6. 12	3 号	非常勤	会社役員
理 事	本舘 勇	2024. 6. 12	2 号	非常勤	元公務員
理 事	林 健司	2024. 6. 12	2 号	非常勤	医師
理 事	田島 元	2024. 6. 12	2 号	非常勤	会社顧問
理 事	田井 友章	2024. 6. 12	1 号	常勤	(専)金沢科学技術大学校長
監 事	米田 正	2024. 6. 12		非常勤	会社役員
監 事	河野 彰人	2024. 6. 12		非常勤	会社役員

- 1 号 この法人が設置する (専) 金沢科学技術大学校長
2 号 評議員の内から評議員会において選任した者
3 号 学識経験者の内から理事会において選任した者

7. 評議員の概要

(定員 17 名)

氏 名	就任年月日	選任区分	備 考
佐々木 孝	2024. 6. 12	3 号	学校職員
田島 元	2024. 6. 12	3 号	会社顧問
野田 政仁	2024. 6. 12	3 号	弁護士
田井 友章	2024. 6. 12	3 号	校長
林 健司	2024. 6. 12	3 号	医師
伏島 泰全	2024. 6. 12	3 号	僧侶
本舘 勇	2024. 6. 12	3 号	元公務員
中山 均	2024. 6. 12	3 号	学校職員
高岡 龍之介	2024. 6. 12	3 号	会社役員
高木 功介	2024. 6. 12	2 号	個人経営者
山形 信也	2024. 6. 12	2 号	個人経営者
中村 政晴	2024. 6. 12	2 号	会社員
竹田 紀子	2024. 6. 12	1 号	学校職員
早見 克之	2024. 6. 12	1 号	学校職員
徳田 佑希子	2024. 6. 12	1 号	学校職員
大橋 嘉弘	2024. 6. 12	1 号	学校職員
鈴木 悠一	2024. 6. 12	1 号	学校職員

1 号 法人の職員で理事会において推薦された者の内から、評議員会において選任した者

2 号 この法人の設置する学校を卒業した者で年齢 25 歳以上の者の内から、理事会において選任した者

3 号 学識経験者の内から理事会において選任した者

8. 収容定員充足率

(毎年 5 月 1 日現在)

学校名	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
(専)金沢科学技術大学校	66.2%	71.3%	69.8%	68.2%	65.9%

9. 教職員の概要

(2024 年 4 月 1 日現在)

	本務者 (人)	兼務者 (人)
教員	17	62
職員	9 (※)	0

(※派遣 1 名含む)

Ⅱ．事業の概要

1．法人事業の概要

(1) 理事会

理事会の開催状況

開催日時	議 題
2024 年 5 月 31 日 15 : 00～	2023 年度事業報告並びに 2023 年度財務報告の件
2024 年 5 月 31 日 16 : 00～	2024 年度事業計画案並びに 2024 年度予算案の件 任期満了に伴う評議員選任の件 任期満了に伴う監事選出の件
2024 年 5 月 31 日 17 : 00～	任期満了に伴う理事選任の件
2024 年 5 月 31 日 17 : 20～	理事長選任の件 監事選任の件 役員賠償責任保険の契約内容の承認と契約更新の件
2024 年 11 月 26 日 16 : 00～	寄附行為変更の件
2025 年 3 月 12 日 16 : 00～	令和 7 年度事業計画案及び令和 7 年度予算案について 学則変更の件

(2) 評議員会

評議員会の開催状況

開催日時	議題
2024 年 5 月 31 日 15 : 30～	2023 年度事業報告並びに 2023 年度財務報告の件 2024 年度事業計画案並びに 2024 年度予算案の件
2024 年 5 月 31 日 16 : 30～	理事会より推薦された評議員の選任の件 評議員会選出理事任期満了に伴う選任の件 理事会より選出された監事の承認の件
2024 年 11 月 26 日 15 : 00～	寄附行為変更の件
2025 年 3 月 12 日 15 : 30～	令和 7 年度事業計画案及び令和 7 年度予算案について

2. 学校事業の概要

(1) 2024年度年間行事一覧表

令和6年度(2024年度) 年間行事予定												金沢科学技術大学校
日 曜	2024年 4 月	日 曜	5 月	日 曜	6 月	日 曜	7 月	日 曜	8 月	日 曜	9 月	
1 月	学年開始	1 水		1 土		1 月		1 木	夏季休暇開始	1 日		
2 火		2 木	開校記念日	2 日		2 火		2 金	◆体統入学会 午後休校	2 月	M・H科授業再開	
3 水		3 金	憲法記念日	3 月		3 水		3 土	◆体統入学会	3 火		
4 木		4 土	みどりの日	4 火		4 木		4 日		4 水		
5 金		5 日	こどもの日	5 水	前期・中間試験	5 金		5 月		5 木		
6 土		6 月	振替休日	6 木	M・H科前期・中間試験	6 土	◆体統入学会	6 火		6 金		
7 日		7 火		7 金		7 日		7 水		7 土		
8 月		8 水		8 土		8 月		8 木		8 日		
9 火	入学式(石川県女性センター)	9 木		9 日	◆体統入学会	9 火		9 金	休校日	9 月		
10 水	オリエンテーション・教科書・教材渡し	10 金		10 月		10 水		10 土		10 火		
11 木	前期・授業!	11 土		11 火		11 木		11 日	山の日	11 水		
12 金		12 日		12 水		12 金		12 月	振替休日	12 木		
13 土		13 月		13 木		13 土		13 火		13 金		
14 日		14 火		14 金		14 日		14 水		14 土		
15 月		15 水		15 土		15 月	海の日	15 木		15 日		
16 火		16 木	(春のレクリエーション)	16 日		16 火		16 金		16 月	敬老の日	
17 水		17 金		17 月		17 水		17 土		17 火	M・H科前期・期末試験	
18 木		18 土		18 火		18 木		18 日		18 水		
19 金		19 日	◆体統入学会	19 水		19 金		19 月		19 木	M科補講・再試験	
20 土		20 月		20 木		20 土		20 火		20 金		
21 日	◆体統入学会	21 火		21 金		21 日	◆体統入学会(AM・PM)	21 水	休校日	21 土	◆体統入学会	
22 月		22 水		22 土		22 月	M科就職ガイダンス	22 木		22 日	秋分の日	
23 火		23 木		23 日		23 火		23 金		23 月	振替休日	
24 水		24 金		24 月		24 水		24 土		24 火		
25 木	学生健康診断	25 土		25 火		25 木		25 日	◆体統入学会(AM・PM)	25 水		
26 金	学生健康診断	26 日		26 水		26 金		26 月		26 木		
27 土		27 月		27 木		27 土	*M・H科夏期休暇開始	27 火		27 金	学科別集中講義	
28 日		28 火		28 金		28 日		28 水		28 土		
29 月	昭和の日	29 水		29 土		29 月	前期・期末試験	29 木		29 日		
30 火		30 木		30 日		30 火		30 金	休校日	30 月	後期・授業!	
		31 金				31 水		31 土				

令和6年度(2024年度) 年間行事予定												金沢科学技術大学校
日 曜	10 月	日 曜	11 月	日 曜	12 月	日 曜	2025年 1 月	日 曜	2 月	日 曜	3 月	
1 火		1 金	(秋のレクリエーション)	1 日		1 水	元日	1 土		1 土		
2 水		2 土		2 月		2 木		2 日		2 日		
3 木		3 日	文化の日	3 火		3 金		3 月		3 月		
4 金		4 月	振替休日	4 水		4 土		4 火		4 火		
5 土		5 火		5 木		5 日		5 水	学年末試験	5 水		
6 日		6 水		6 金		6 月		6 木		6 木		
7 月		7 木		7 土	◆体統入学会	7 火		7 金	M・H科学年未試験	7 金		
8 火		8 金		8 日		8 水	*冬期休暇終了	8 土		8 土		
9 水		9 土		9 月		9 木	●授業再開	9 日		9 日		
10 木		10 日		10 火		10 金		10 月		10 月		
11 金		11 月		11 水		11 土		11 火	建国記念日	11 火		
12 土	◆体統入学会	12 火		12 木		12 日		12 水		12 水		
13 日		13 水		13 金		13 月	成人の日	13 木		13 木	第37回・卒業式	
14 月	スポーツの日	14 木	後期・中間試験	14 土		14 火		14 金	補講・再試験	14 金		
15 火		15 金		15 日		15 水		15 土	◆体統入学会	15 土	◆体統入学会	
16 水	避難訓練日	16 土	◆体統入学会	16 月		16 木		16 日		16 日		
17 木		17 日		17 火		17 金		17 月		17 月		
18 金		18 月		18 水		18 土	◆体統入学会	18 火		18 火		
19 土		19 火		19 木		19 日		19 水		19 水		
20 日		20 水		20 金	1年生(M・H除く)就職ガイダンス	20 月		20 木		20 木	春分の日	
21 月		21 木	M・H科後期中間試験	21 土	■第3次入試	21 火		21 金		21 金		
22 火		22 金		22 日		22 水		22 土	■第5次入試	22 土	■第6次入試	
23 水		23 土	勤労感謝の日	23 月	*冬期休暇開始	23 木		23 日	天皇誕生日	23 日		
24 木		24 日		24 火		24 金		24 月	振替休日	24 月		
25 金		25 月	M科就職ガイダンス	25 水		25 土	■第4次入試	25 火		25 火		
26 土	■第1次入試	26 火		26 木		26 日		26 水	M・H科補講・再試験	26 水		
27 日		27 水		27 金		27 月		27 木	成績・卒業判定会議	27 木		
28 月		28 木		28 土		28 火		28 金		28 金		
29 火		29 金		29 日		29 水				29 土		
30 水		30 土	■第2次入試	30 月		30 木				30 日		
31 木				31 火		31 金				31 月	学年終了	

(2) 各学科の現状と今後の展望等

[自動車工学科]

2024 年度 2 級ガソリン・ディーゼル自動車整備士登録試験に受験者 23 名全員が合格することができました。

入学生については、2024 年度は 23 名でありましたが、2025 年度は 36 名と増加しました。オープンキャンパス参加者の入学率が 2024 年度は前年度より 10 ポイントほど高くなっていることから、2025 年度はさらに工夫と充実を図り、入学率がアップするように取り組んでいきます。

そうした中、2024 年度は 1 級コース 3 年生 4 名のクラスがスタートし、HV 車の教材車、オシロスコープなどの計測機器、ベンチエンジン等も増強し、3 年生についてはレベルの高い実習ができたと思います。2025 年度は 4 年生に進級し、卒業後は、本校初の 1 級自動車整備士の登録試験チャレンジとなるため、2 級コースと合わせて全員合格を達成し、両コース、特に 1 級コースの入学生の増加に向けたアピールにつなげたいと考えています。

自動車整備業界では相変わらず人材不足が解消されない状況ですが、人材確保に向けた動きが見られ、給与所得の改善、空調などの導入による労働環境の改善、残業時間の縮小、休日の増加など、魅力向上を図っているディーラーも増えているので、高校生に向けた説明での明るい材料になると思っています。

[情報系学科]

2024 年度に金沢学院大学が情報工学科を、2025 年度には金沢工業大学が「情報デザイン学部」や「メディア情報学部」といった文理融合型の 2 学部に加え、「情報理工学部」を新設したことは、やはり本学科の新入生数に大きく影響を及ぼしていると思われます。

さらに、高等教育の修学支援制度の拡充により、大学進学への動きが一層加速していることも、こうした傾向に拍車をかけていると考えられます。

一方で、生成系 AI や AR・VR といった先端技術の普及に対する社会の期待は非常に高く、DX の進展に伴い、IT 人材の需要は今後ますます増加すると見込まれています。経済産業省の推計によれば、2030 年には約 79 万人の IT 人材が不足するとされており、この問題は今後さらに深刻化していくと予測されています。

世界の時価総額ランキング上位 10 社中 8 社が IT 企業であることから分かるように、IT 業界は現在、世界のトップ産業となっています。そのため、高校生が情報分野への進学を希望する傾向は今後も続くものと考えられます。

本学科としては、こうした状況を踏まえ、他大学に引けを取らない教育力を発揮し、魅力を伝え、学生増加に努めていきたいと考えています。

[映像音響学科]

ここ数年は、カリキュラムや授業、課題、校外授業など、例年に準じて進めてきましたが、変化と新しい取り組みが必要とされるタイミングがきていると思っており、環境面における改善はもちろんです、学科の強みを今一度整理し、高校生に届くようにアウトプットす

ることが大切だと考えています。

2024 年度は、輪島市、北陸朝日放送と共同でCMを制作するなど新しい取り組みを実践することができました。こういった機会を増やし、「北陸で唯一の映像音響関連技術を学べる学科」という強みを、より一層伝える努力をしていきたいと思います。

さらに、これまで行ってきたロック音楽フェスへのインターンシップ参加や 10 代が主メンバーのミュージカル撮影など、校外のイベントや機会との接点を継続しつつ、関連技術に興味を持つ若者が集まる機会への露出を新たに模索していきます。

また、2025 年度は映像制作に 1 名の新しい講師を迎えることができました。こうした指導陣の刷新も含め、数年先を見越した新しい技術や知識が学べる環境整備を続けていきたいと思っています。

就職については、卒業生とのネットワークも駆使しながら、企業ニーズをとらえた活動を学生に促していきます。

[電気エネルギー工学科]

2024 年度も全員（10 名）の就職が決まりました。就職先企業の業務内容は、授業内容と関連しており、しかも希望する企業にほぼ就職できたことは教える側にとって大変うれしいニュースでした。

資格取得については、第二種電気工事士は全員取得、第一種電気工事士は 10 名中 7 名、2 級電気工事施工管理技術士補は 5 名、1 級電気工事施工管理技術士補 1 名、三級シーケンス制御技能士 1 名、さらには第三種電気主任技術者 1 名および科目合格 1 名という結果でした。

本学科創設以来、初めて 1 級電気工事施工管理技術士補の合格者を輩出することができましたが、これは新たに設けた科目『施工管理』の成果かと捉えています。また、三級シーケンス制御技能検定の合格者についても、2024 年度から『自動制御』にベルトコンベア実習装置を導入し学習したことが成果となって表れたものと思います。

カリキュラムの見直しについては、メカトロニクス等の学習ができるように 2024 年度から、科目『マイコン技術』後期 4 単位（延べ 60 時間）を設けました。2025 年度は『マイコン技術』後期 3 単位とし、その関連知識を身につけるために前期に『プログラミング言語』2 単位、『情報技術基礎』1 単位を新設しました。『マイコン技術』の準備科目という位置づけだけではなく、情報やプログラミングの素養を身につけ関連科目の理解にも十分に活かせるものと考えています。『電子回路』についてもより魅力ある授業内容を目指して、パソコンを使った回路シュミレータの活用も進めていきます。

こうした電気工事関連科目だけでなく、多様な学習ができる科であることをアピールしていきたいと思っています。

オープンキャンパスの内容についても、今までの『電気工事』に加え、2024 年度からは『制御技術』や『マイコン技術』を導入し、参加者の多様な興味関心に対応できるように工夫をしています。

今後も時代のニーズを捉えるとともに多様な学生の能力に対応できる学科づくりのために、カリキュラムの不断の見直しだけではなく、専門科目間の横断的な連携を一層深める

必要があると考えています。

[建築学科]

詰め込み教育ではなく、もっとゆとりのあるカリキュラムでありながらも建築士の要件に合う授業をしていくことはなかなか難しいことではありますが、とにかくもっと学生に寄り添った授業となるように教員が一丸となって努力を続けています。

また、以前に比べ、近年の学生はとても大人しく従順な印象を受けます。例えば、学生の方から地域のイベントやコンペにもっと参加したいと申し出てくるような活発な雰囲気をつくっていくためにも、学生と教員が気持ちを出し合う関係をこちらから仕掛けていく必要があると考えています。

学生には建築を好きになり、充実した2年間で過ごしてもらいたいと願っていますし、目的意識を高く、そして強く持たせ建築士の合格率も上げていけるよう努めていきたいと思っています。

また一方で、建築分野の就職先は幅広いことから、たとえ建築士を取れなくても適材適所に就職することができることを学生に理解させるなど細やかな指導を行い、引き続き就職率100%を維持していきたいと思っています。

「建築のまち金沢」、「学生のまち金沢」と言われています。より一層、金沢の地の利を生かした教育を行っていこうと考えています。

[家具クラフト学科]

現在、2年生は7名中1名、1年生は12名中4名が女性です。伝統工芸の世界も女性が多く活躍していることを考えると、いいものにこだわるのは女性のほうが多いのではと思います。今後は女性の入学生数を増やすためにも、男性向けのものばかりでなく、女性がやってみたくことも取り入れる。具体的には、大きな家具より、キッチン小物や生活雑貨などクラフト方向にも力を入れていこうと考えています。

オープンキャンパスでは、今まで木工は「怖い」「難しそう」「重くて作れなさそう」とかマイナスのイメージを持っていた人に、「面白そう」「楽しそう」「簡単に出来そう」といったプラスのイメージを増やしてもらえるように工夫をして取り組んでいます。

また、昨年1年生は、家具手加工3級の技能試験を受験しました。7名受けて全員合格することが出来ました。学生にとって目標があるのは、やる気を出すのに効果あったので、今年度も1年全員受験をしたいと考えています。

就職面では、地元を中心にニーズはあり、本人に働く意思があれば仕事はあるので、就職率は100%を維持しています。家具関係だけでなく本人の適性も考慮して、幅広く探して、早めの就職内定を目指していきます。

ものを作る楽しさを学べる学科は全国的にも少ないので、その強みをより一層生かしていきたいと思っています。

（３）各課の事業報告等について

〔教務課〕

＜主な業務内容＞

- | | |
|-----|---|
| 4月 | オリエンテーション、新入生データの取り込み及び学籍簿作成、教科書等の入荷検品、連絡網の構築、学生損害保険手続き 等 |
| 5月 | 学校基本調査、会員校概況調査、教職員の健康診断予約 等 |
| 6月 | 自動車工学科前期中間試験結果発送 等 |
| 7月 | 私立学校実態調査 等 |
| 8月 | 自主点検表作成と依頼、避難訓練、芸術村予約 等 |
| 9月 | 補講再試験窓口業務、入学試験問題作成 等 |
| 10月 | 前期成績集約と発送、保護者向けアンケートの依頼と集計 等 |
| 11月 | 学生向けアンケート依頼と集計、次年度年間行事予定案作成 等 |
| 12月 | 教職員10年表彰申請、学生向けアンケート集計 等 |
| 1月 | 休学者への復学伺い発送、カリキュラム作成、卒業アルバム撮影 等 |
| 2月 | 学生諸費等取りまとめ、特待生・進級・卒業判定、卒業式関係準備 等 |
| 3月 | 卒業式関係準備、次年度教科書等発注、非常勤講師委嘱状 等 |

授業評価アンケートに関して、2023年度の回答率が非常に低かったため、2024年度はその改善に取り組んだところ、大幅に回答率を上げることができました。

2024年度の進級率や卒業率はほぼ前年度と同様でした。引き続き学生に対する学校生活でのケアの充実、保護者等との連携を図り、さらなる改善に努めていきます。

その他としては、模試や試験を運営する予備校や事業者から校舎の貸し出し依頼が多くあり、可能な限り応えました。

〔就職課〕

＜主な業務内容＞

- | | |
|--------|--|
| 4～（随時） | 校内会社説明会（建築学科） |
| 5～7月 | 校内会社説明会（情報工学科） |
| 7月 | 就職ガイダンス（自動車工学科） |
| 9～3月 | 内定状況報告（新卒応援ハローワーク） |
| 12月 | 就職ガイダンス（自動車工学科以外の学科） |
| 3月 | 内定状況報告（石川県総務部） |
| 通年 | 就職活動の相談受付、面接対策・シミュレーション、履歴書、エントリーシートなどのアドバイス |

2024年度の就職希望者数143名（卒業者154名）のうち140名内定、進路未定者は3名、就職内定率は97.9%（前年度：96.4%）となりました。求人状況については引き続き好調で、求人数は就職希望者数の10倍強（1,568名）に達しました。

学科別の状況は、自動車工学科では地元のディーラーはもとより、北海道など遠方のディーラーからも求人票をいただくなど全国的に求人意欲が強いこともあり、内定率 100%を 15 年間連続で達成できています。就職活動開始のタイミングは早く、1 年生の夏休みにはディーラーが開催する会社見学会を中心に参加し、2 年生進級時には 95%以上が内定を得ている状況です。

情報系の学科は、会社内の DX 化や工場内の FA 化が急速に進められている影響のためか、システムエンジニア、プログラマー、運用職など幅広い求人があります。近年、首都圏に就職する学生が増えているため、校内の説明会では石川の企業と首都圏の企業を同数程度とするように計画しています。また、内定状況で目立ったのは、これまではあまり肯定的に捉えられていなかったエンジニアの派遣（正社員）が増加した点があります。

映像音響学科は、学校にいただいた求人ではなく、学生自身で探した会社に就職する傾向があります。就職課としては学生にとって魅力的な求人が増えるように努めていきたいと思っています。

電気エネルギー工学科は、電気関係分野の求人が非常に多いにもかかわらず、本校の学生数が少ないため、そのニーズに对应されていない状況が続いています。

建築学科は、設備の施工管理職に就く学生が増えているように感じます。一方、求人が最も多い建築の施工管理職に対してはやや学生の関心が低いように思われるため、その魅力を校内で行う会社説明会などでも伝えていきたいと考えています。住宅の設計やコーディネーター職の求人は早期に定員に達することが多いため、希望する学生には早め早めに活動を開始するように促しています。

家具クラフト学科では、木工の仕事を中心に就職活動を行うものの 2024 年度はプラスチック製品の製造職に就職する学生がいました。木工に関する職に就くことが望ましいと思いますが、その学生の技量・適性に応じ斡旋したいと考えております。

昨年に引き続き、就職活動の早期化、長期化が目立っていることを感じます。早くから説明会に参加するなど情報収集し、内定後もより良い会社を探すことは悪くないのかもしれませんが、しかし授業、実習などが疎かになると入社した際に会社の期待に応えることができないのではないかと不安も感じます。対策として、学生が強く就職を希望する会社を探したうえで受験するよう 1 年時にインターンシップへの参加を促すことや、校内で業界や会社の説明会を実施し、会社のことや社会でのその会社の存在意義を理解した上で受験するように促したいと思います。

【学生課】

＜主な業務内容＞

4 月	通学証明書作成、自動車通学証明書作成、奨学金説明会、学生健康診断
5 月	春のレクリエーション
10 月	秋のレクリエーション
2 月	新 2 年生 通学証明書作成
通年	日本学生支援機構奨学金手続き、学生の生活指導及び交通指導

通学証明書等の発行、外国人留学生在籍調査、保護者・学生対応

本校は「高等教育の修学支援新制度」の対象校となっています。本制度は、「給付型奨学金（生活費の支援）」と「授業料等減免（学費の支援）」の二本柱で構成されており、いずれも返済の必要がありません。この制度により、在学中の生活費負担を軽減するとともに、卒業後の経済的負担も抑えることが可能になります。さらに、**2024**年度からは「多子世帯（扶養家族が3人以上）」に対する収入基準が撤廃され、これまで以上に多くの学生が本制度を利用できるようになりました。保護者および学生の経済的負担を軽減するため、より多くの学生がこの制度を活用できるよう積極的に支援していききたいと思います。

本校では、学生が広範な地域から通学していることを踏まえ、公共交通機関における学生割引の利用が円滑に行えるよう、さまざまな支援を行っています。特に、新2年生が通学証明書をスムーズに受け取れるよう、スマートフォンからの申請にも対応できるようし、利便性の向上を図っています。

また、春と秋に次のようなレクリエーション活動を企画・運営しています。春は学科別で行い、新入生が友人を作り、より親しくなるための有意義な機会となっています。秋は全学科合同で行い、学科間の交流を図っています。今後も、学生の関心やニーズをより的確に把握し、それに応じたイベントの企画・運営を行うことで、より多くの学生が楽しめる交流の場を提供していきたいと考えています。

◇ 春のレクリエーション（学科ごと）

・自動車工学科

自動車博物館（栗津）の見学、・加賀フルーツランドでのバーベキュー

・情報工学科、映像音響学科、ビジネスパソコン学科

学科合同で卯辰山県民公園にてバーベキュー

・電気エネルギー工学科

金沢フォーラスにて映画鑑賞

・建築学科

金沢市内の建築物を巡る散策

・家具クラフト学科

金沢市城北体育館での卓球・バドミントン

◇ 秋のレクリエーション（全学科合同）

・映画鑑賞、ボーリング、ソフトボール

このように学生課は、学生が充実した学生生活を送れるよう支援する重要な役割を担っています。今後も、より多くの学生の学びと成長を支えるため、一層の努力を重ねていきます。

[広報課]

<主な業務内容>

- 学校案内書及び募集要項、チラシ・ポスターなどの作成
- 資料請求及び問い合わせ、見学等の対応
- ホームページの情報更新

- SNS 及びホームページにおいて学校や学科の情報や News を発信
- テレビ及び動画配信におけるCM放映／テレビ取材(パブリシティ)対応
- SNS 上での広告企画対応
- 高校訪問
- 業者運営によるガイダンスへの参加
- 専各連合会主催「学びフェスタ」などイベントへの参画運営(自動車工学科)
- DM制作発送
- 各進学情報誌及び進学情報サイトへの広告掲載(原稿制作含む)
- 高校関連、マスメディアへの広告掲載
- オープンキャンパスの運営
- 入学願書受付及び入学試験に関わる運営
- その他、学校行事・イベント企画運営 など

2024 年度の新たな活動の一つとして、自動車整備士を魅力的に感じてもらうための動画を制作しました。動画は当校の YouTube に載せ、高校ガイダンスや体験入学会などでも見てもらうなど、自動車整備士に興味をもってもらえるように活用しています。

今後も高校訪問や高校生向けガイダンスをはじめ、ホームページや学校案内誌等を通じて、本校の教育成果も含めた様々な情報を正しく伝える努力をしていきたいと考えています。

Ⅲ．財務の概要

1．事業活動収支計算書

(単位：円)

区分		科目	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	306,295,000
		手数料	8,969,820
		寄付金	0
		経常費等補助金	19,497,300
		付随事業収入	5,511,283
		雑収入	6,459,627
		教育活動収入計	346,733,030
	事業活動支出の部	人件費	185,929,027
		教育研究・管理費支出	163,956,024
		徴収不能額等	0
		教育活動支出計	349,885,051
	教育活動収支差額		△ 3,152,021
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	1,140,917
		その他の教育活動外収入	504,000
		教育活動外収入計	1,644,917
	事業活動支出の部	借入金等利息	7,011,648
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	7,011,648
教育活動収支差額		△ 5,366,731	
経常収支差額		△ 8,518,752	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	5,241,034
		その他の特別収入	0
		特別収入計	5,241,034
	事業活動支出の部	有価証券評価損	0
		固定資産除却損	0
		教育活動外支出計	0
教育活動収支差額		5,241,034	
基本金組入前当年度収支差額		△ 3,277,718	
基本金組入額合計		△ 43,251,935	
当年度収支差額		△ 46,529,653	
前年度繰越収支差額		△ 897,333,888	
基本金取崩額		0	
翌年度繰越収支差額		△ 943,863,541	
(参考)			
事業活動収入計		353,618,981	
事業活動支出計		356,896,699	

2. 貸借対照表

資産の部		(単位: 円)
科目	期末残高	
固定資産	1,783,525,650	
有形固定資産	1,772,508,221	
その他の固定資産	11,017,429	
流動資産	994,125,170	
資産の部合計	2,777,650,820	
負債の部		
科目	期末残高	
固定負債	273,200,000	
流動負債	372,852,420	
負債の部合計	646,052,420	
純資産の部		
科目	期末残高	
基本金	3,075,461,941	
第1号基本金	3,049,461,941	
第4号基本金	26,000,000	
繰越収支差額	△ 943,863,541	
純資産の部合計	2,131,598,400	
負債及び純資産の部合計	2,777,650,820	

3. 財産目録

		(単位: 円)
科目		
資産総額	2,777,650,820	
基本財産	1,783,525,650	
運用財産	994,125,170	
負債総額	646,052,420	
固定負債	273,200,000	
流動負債	372,852,420	
正味財産	2,131,598,400	